

# 漁場環境整備について

追跡調査の結果を待って

／海洋森林課長



はま だ じゅんいち 議員 浜田 純一

ではないかという心配をする。執行部も刷新されたことでもあり、あらためてこの漁場の改善状況について問う。

答

谷口 海洋森林課長

藻場の再生状況については平成21年12月7日から8日にかけて、平成14、15、17、19年度にウニの除去を実施した。4地域で追跡調査を町と県との合同で実施し、次のような結果となった。

**問** 健全な漁場の環境に、藻場の造成は欠かせないと思っており再三質問をするが、前回の質問で、鉄鋼スラグ設置の件は、費用対効果のことがあるので試験場と協議をしていきたいという答弁であったが、その試験場との協議はどのようになつたのか。また、当町の実施したウニ類の除去による藻場再生状況は、私が見る限り成果が挙がっているようにも思えないし、このままでは沿岸漁業が先細りになるの

平成19年度区域は、全体的に小型の紅藻類や小型有節サングロ類が海底を覆っており、海藻類の繁殖は上昇傾向にあると考えられるが、沖側の基点となる岩盤の上部は、20年度調査時に大型海藻類が全く見られない磯焼け状態となっており、今回調査でも同様の

状態が続いていた。鉄鋼スラグの費用対効果については、現在水産庁が主体となり、水産総合研究センター等により実験や追跡調査をしているので、その結果待ちとなっている。

高齢者に  
趣味の教室を  
時間をいただきたい  
／町長

高齢者対策

問

最近、認知症などの予防に、囲碁、将棋、マージャン、ダンスなどの趣味をたしなむ高齢者が増えているという報道があった。2年前にも趣味の教室の開催について質問をしたが、再度質問をする。

国民健康保険税も、基金不足に陥りそうなので、10・7

%程度の保険税を上げたいという議案の提出が今議会にあつたが、教育厚生常任委員会では修正案を出した。

それよりもまず、身体も頭脳も健康な高齢者になつていただく手だてが必要ではないかと思つている。

適度な運動をして、適度な趣味を持って、それから精神的にも身体的にも、かくしゃくとした生活を送って頂く事が、お年寄りにも、それから町の財政にもいいのではないかと思つているが、どのように考えるか。

答

大西町長

生きがい創出、これについては一生涯命取り組んでいくつもりでいるし、また指摘頂いたように、医療費抑制について何らかの事業展開をしていくつもりでいる。

その中で、趣味の教室で対応するということについては、まだ現時点で断言することは出来ないが、生きがい創出、

あるいは医療費の抑制ということの中の選択肢の一つとして、これから検討していく。また、実験的な短時間での開催という指摘をいただいているが、これについても、まだいろんな関連の詳細について把握できていないので、もう少し時間をいただいで勉強させてもらいたい。



陶芸教室で器づくりを（町民館活動）